

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

「家庭・地域・学校協議会」 計11名
 自治振興会会長 1名
 民生児童委員会代表 2名
 有識者代表 2名
 P T A代表 2名
 学校関係者 4名
 (校長、教頭、教務、生徒指導主事)
 「地域コーディネーター」 計4名
 教育委員、地区自治振興会会長、
 公民館主事、自営業

(2) 協議会の内容

6月18日(火)
 ・学校教育方針について
 ・学校力向上の取組
 ・生徒の実態について
 11月15日(金)
 ・学習や学校生活の状況について
 ・学校評価内容等の検討
 2月17日(月)
 ・学校の現状について
 ・学校評価の分析と次年度への課題

(3) 協議会における成果と課題

委員の方から地域の声や、生徒の下校の様子を聞くことができ、家庭・地域・学校が連携して生徒指導を推進することができた。今後も、いち早く対応し、生徒の指導に生かしていきたい。第2回では、委員の方に給食の試食と授業参観をしていただいた。生徒が集中して学習に取り組む姿や、英語の高度な授業内容に驚かされていた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の産業・文化・歴史などに関する調べ学習や体験活動を通してその良さを再認識する。また、地域を活性化するためにはどのような活動をしたらよいか、自分の思いを地域の方々に伝え、協働して企画の立案・運営を行い、地域に誇りと愛着を持ち、「ふるさと今立」を担う生徒を育む。

(2) 活動の実際

①地域発見活動(1年生)

ア 地域の産業・文化・歴史など、生徒が興味・関心に基づいてテーマを設定し、そのテーマを解決するために調べ学習を行い学校祭で成果を発表した。

イ 県地域戦略部未来課より講師を招き、「データから福井・今立の未来を考えよう」という演題で話を聞いた。

ウ 今後の自分たちの地区を繁栄させるために、どのようにすればよいか新たに課題を設定しパワーポイントを使って資料を作成したり、パンフレットやポスターなどにまとめたりして発表した。

エ まとめた資料は、地域の施設で展示したり、「福井ふるさと教育フェスタ」で展示したりして、自分たちの思いや考えを発信した。

②地域体験活動(2年生)

ア 人生の先輩に話を聞く会を持ち、実際に社会で働く人と対話することで働くことのやりがいや、苦労などを知り、社会における職業の意義について考える機会とした。



講演会(本校体育館にて)

イ 地域の産業を調べ、自分の興味・関心のある産業に関わる職場での体験学習を主体的に計画し、実施した。

ウ 職場体験で学んだ内容をまとめ、人生設計に生かす取組をした。

③地域発信活動（3年生）

ア 2年生の時に作成した「福井アピールうちわ」をどのように配付するかを主体的に考え、地域の良さを様々な形で発信した。

イ 発信した方法や内容をふり返り、地域の良さや未来への希望についてレポートにまとめて発表した。

ウ 今立地区の伝統工芸品である越前和紙を活用して、コースージュを制作した。



職場体験（洋菓子店にて）

（3）地域コーディネーターの活動概要

- ・地域イベントや伝統行事などの紹介（第1学年）
- ・職場体験学習の事前指導（第2学年）
- ・職場体験活動の受入先の斡旋・支援（2年）
- ・はながたみプロジェクトの企画・運営（第3学年・花筐地区）
- ・えちぜん元気フェスタの参加連絡調整・模擬店企画への支援（吹奏楽部）

（4）特に工夫した事項

「地域と進める体験推進事業運営研究会」が中心になり、活動内容の企画・運営を行った。3年目ということで、地域コーディネーターに、より効果的に事業に参画していただく形で研究を推進した。今年度は、多くの活動に地域コーディネーターに参加していただいた。2年生では職場体験学習の事前学習として、「仕事の流儀」という演題で、職場におけるマナーに関する指導をしていただき、実際に働いている方の視点から、職場体験での注意点を丁寧に説明していただいた。

（5）成果と課題

①地域発見活動（1年生）

自分たちが住んでいる今立地区について、改めて見直す機会となった。その中で、今立地区の良さや課題などに気づき、今後今立地区がどうなっていくとよいか、そして今立地区の発展のためにできることを考えた。今後も継続的に取り組み、地域貢献のために積極的に関わろうとする姿勢を養っていきたい。

②地域体験活動（2年生）

今年度も、地域コーディネーターに職場を斡旋していただき、生徒に地区の職場を選択させて体験することができた。生徒たちは2日間の体験から、働くことの厳しさや楽しさなどを学ぶことで、自分の将来についてより深く考える機会となった。また、地域で働く人たちが自分たちの生活にどう関わっているかなど、具体的に考える良いきっかけとなった。

③地域発信活動（3年生）

3年生は、修学旅行で「福井といえば」というテーマに対して、生徒一人ひとりが地域学習で学んだ地元・福井の良いところや特産品などを描いたうちわを配付した。福井のPRなども含め、地元の良さを再認識した活動であった。うちわはいろいろな企業に配付し、好評であった。



うちわの配付（企業訪問にて）

